
枯れた瞳に

level 43

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

枯れた瞳に

【Nコード】

N4595D

【作者名】

level 43

【あらすじ】

久し振りに投稿します。日頃の自分を何となく書いてみました。最後まで読んで頂けたら幸いです。

いつの間にか泣かない自分が存在した
テレビを見ても、映画を見ても涙が流れてこないんだ

何故？

自分でも理由がわからない

喜怒哀楽がない訳じゃない
いや、むしろ他人よりもあると思うんだ

最近こんなジレンマに陥るんだよね

若い頃はよく泣いたんだ

大好きな彼女との終わりを迎え、自分の部屋の片隅で夜明け迄泣き
続けた

試合に負けて、悔しくて悔しくて人目も憚らずに最後まで泣き続け
た事もあったっけ

泣いて、泣いて、そして泣いて

枯れるまで涙を流して

力尽きて寝て

そしてまた、立ち上がったたな

昔は今よりもずっと素直だったからかな
正直だったからかな

ううん、それは違う

多分何も変わってないよ

格好つけで、意地っ張りで

そして何より我が侂で

結局格好悪い自分

進歩がない自分

やっぱり格好悪いや

最近淋しいってよく思うんだ

人恋しくなつて

誰かと話したくなる

人肌も欲してる自分も居てさ

テレビ見て、本読んで、たまに独りで出掛けたりして誤魔化してる
でもやっぱりそこに涙はないよね

淋しいって思うし、悲しさだっただけ感じるのにね

僕は予言者じゃないから
いつになるかわからないけれど
でも

でもいつの日かこの乾いた瞳から一粒でも涙が溢れた時

今よりも僕は

素直になれると思うんだ

そしたらまた

いつかの笑顔で逢えるよね

それまで僕は
枯れた瞳に涙を願いたい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4595d/>

枯れた瞳に

2011年1月22日02時31分発行